

住宅耐震化促進事業(実施内容)の詳細

都市整備部 建築指導課

■事業の概要

今後発生が予想される南海トラフ地震等の大地震に備えるため、昭和56年5月31日以前に建築されたもので耐震性の低い民間住宅について、所有者が耐震改修計画策定、耐震改修工事、簡易耐震改修工事、シェルター型工事、屋根軽量化工事又は防災ベッド等設置を行った場合、その費用について補助金を交付するもの。

■実施の状況

宝塚市耐震改修促進計画(平成21年策定)において、耐震診断及び耐震改修に係る取組みにより、住宅の耐震化率(97%)を目指すとしているが、令和4年度末の住宅の耐震化率(推計)は93.4%。

■実施内容(補助メニュー)の概要と過去5カ年の実績

住宅耐震改修計画策定費補助

耐震改修を行うための耐震診断及び改修設計の業務費用に対する補助。

事業年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績戸数 (棟数)	戸建	4	8	0	9	8
	共住	220 (8)	0 (0)	0 (0)	7 (1)	105 (1)
実績事業費(千円)		27,084	1,290	0	2,364	9,073

住宅耐震改修工事費補助

耐震基準を満たすために行う改修工事の費用に対する補助。

事業年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績戸数 (棟数)	戸建	5	6	6	4	9
	共住	0 (0)	135 (5)	80 (3)	0 (0)	0 (0)
実績事業費(千円)		5,600	62,889	37,888	3,616	8,248

簡易耐震改修工事費補助

耐震性能を耐震基準の7割以上に改善するために行う耐震診断、改修設計及び改修工事の費用に対する補助。

事業年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績件数	0	0	1	0	0
実績事業費(千円)	0	0	500	0	0

屋根軽量化工事費補助

屋根全体を非常に重い屋根(土葺瓦屋根)を軽いものに軽量化する費用に対する補助。

事業年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績件数	1	3	0	1	0
実績事業費(千円)	500	1,500	0	500	0

シェルター型工事費補助

住宅が倒壊しても居室内の安全が確保できる耐震シェルターを設置する費用に対する補助。

事業年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績件数	0	0	0	0	0
実績事業費(千円)	0	0	0	0	0

防災ベッド等設置費補助

住宅が倒壊しても安全な空間を確保する防災ベッドなどを設置する費用に対する補助。

事業年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績件数	0	1	0	0	0
実績事業費(千円)	0	100	0	0	0